

DX 推進基本方針

実務執行統括責任者：代表取締役社長 鎌仲 篤史

更新日：2026 年 2 月 20 日

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

● 経営ビジョン

「高品質×スピード×デジタル」を軸に、信頼されるものづくりで地域と産業の発展に貢献する。
社員が誇りと成長を実感できる環境を整え、持続可能で次世代型の製造業モデルを創造する。

● 経営ビジョンを実現するために掲げる DX ビジョン

デジタルで進化し、地域と未来を創る製造業へ。

● DX ビジョンにかけた思い

当社は、地域に根ざした金属加工を通じて産業の発展に貢献してきました。

創業以来、「ものづくりで信頼に応え、地域と共に成長する」ことを使命とし、高品質な技術と誠実な姿勢で事業を展開しています。

製造業 DX を推進し、お客様・地域・社員とその家族の幸せを実現する、人と地域に寄り添うものづくり企業を目指します。

また「持続可能で次世代に誇れる製造業」の実現を通じて、地域産業を担う責任を果たし、デジタル技術で生産性と品質を高め、社員がやりがいを持てる職場づくりを進めます。

2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）

以下、3 つの DX 戦略を掲げ、組織全体のデジタル活用を加速します。

DX 戦略は、2026 年～2028 年の 3 年間で実行するものとして策定します。

● DX 戦略①：現場データの可視化による生産性向上と属人化脱却

業務プロセスをデジタルデータ化し（文書マニュアル・製造マニュアル）即座に検索できる体制を採る事で属人化の解消、容易な技能継承を目指す。

● DX 戦略②：データ活用型経営の推進

生産・在庫・販売データを統合し経営判断を効率化。生産性向上とコスト削減を目的としたデータ収集の実現。

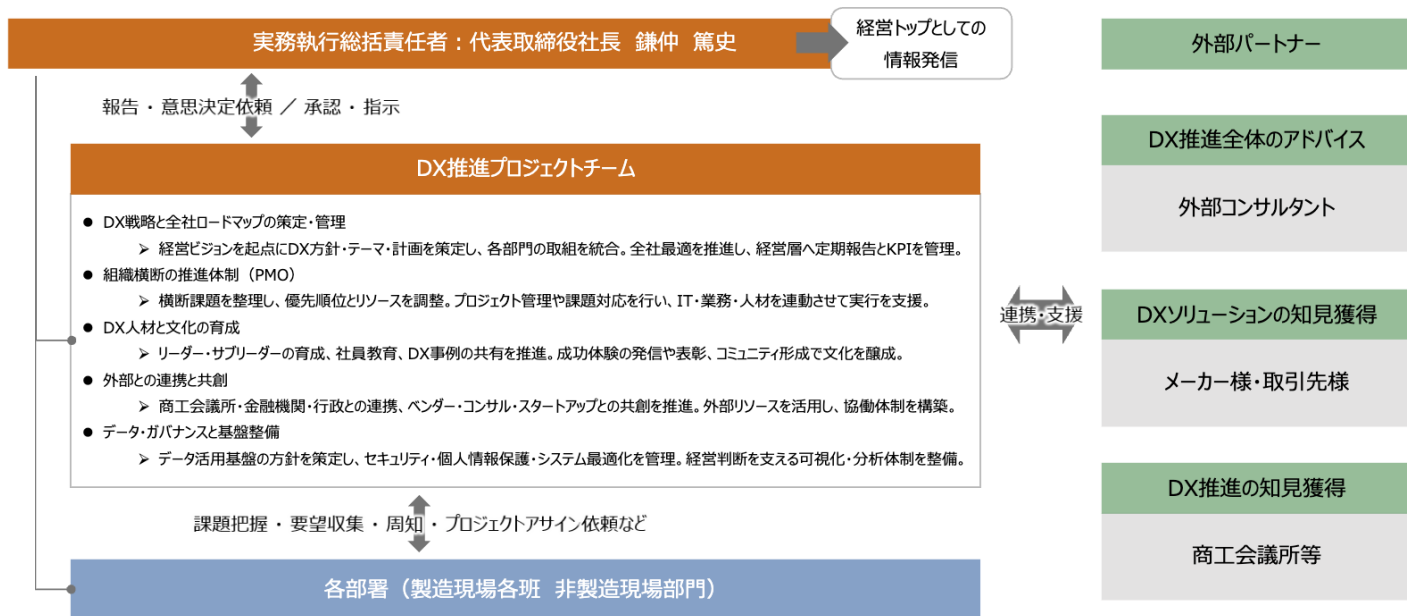
● DX 戦略③：データと信頼を守るセキュリティ戦略

サイバーセキュリティ基盤の強化をする事で社内リスク管理はもちろん、取引先への信頼を守る事や影響に対する復旧手順を確立する事で、企業としての BCP を整備する。

3. 戦略を効果的に進めるための体制

「実務執行総括責任者：代表取締役社長 鎌仲 篤史」の直轄チームである、「DX 推進プロジェクトチーム」に、全社 DX を企画・統括する“経営変革の中核的”役割を持たせます。

単なる IT 推進部門ではなく、経営戦略と現場実行を橋渡しする「変革司令塔」として、経営方針を DX の具体戦略に落とし込み、組織横断で推進します。



4. 戦略の達成状況に係る指標

前述した DX 戦略①～③のそれぞれの達成度を測る指標を策定しています。2026 年～2028 年の 3 年での段階的な計画としています。

DX 戦略①～③に紐づけて指標をそれぞれ細分化して定義しており、その DX 戦略実行プロジェクト単位でプロジェクトチームが管理し、定期的な評価・改善が回る仕組みとしています。複数存在するプロジェクト単位での達成度などは、「実務執行総括責任者：代表取締役社長 鎌仲篤史」へ報告し、指示を仰ぐと共に外部及び内部への情報発信の材料としています。指標としては、「DX 戦略実施により生じた効果を評価する指標」及び「DX 戦略に定められた計画の進捗を評価する指標」の両方の観点で策定し、公表しています。また、定量指標に加えて、達成したか否かが判断できる定性指標も含んでおります。

5. 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信

私たちは、DX 推進進捗の透明性を担保すべく、外部ステークホルダーの皆さま及び社内へ発信して参ります。

● 社外向け

四半期ごとに DX の取り組み・進捗を公式 Web サイト及び公式 SNS で発信いたします。さらに、DX 推進の成功事例やベストプラクティスを、業界イベントやセミナーで積極的に発信し、地域企業の DX 推進を支援するリーディングカンパニーとしての役割を果たしていきます。

- **社内向け**

半年に1回の社内DXレポートを発行し、経営陣から全社員へDXの進捗を共有いたします。

※DX戦略の詳細等については、こちら (<https://www.douou-metal.co.jp/wp-content/uploads/2026/02/digital-management-strategy-2.pdf>) をご確認ください。